

7日目 10月1日

会 場: 県立浜山球場

第2試合		～準決勝～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
三刀屋		0	0	0	1	0	0	0	0	0							1	5	2
益田東		0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	6	2
(投手―捕手)																			
・ (三)		三原 ― 國分																	
・ (益)		奥永→辻本 ― 永井																	
(長 打)		(二塁打)							(三塁打)							(本塁打)			
・ (三)																吉田			
・ (益)		福井聖2							園										
(審判)〔球審〕		門崎			〔一塁〕城市				〔二塁〕日野岡				〔三塁〕大畑						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(三)	36	5	1	0	0	1	8	2	3	2		0		2	0	0	1	0	
(益)	35	6	0	2	1	0	7	1	2	0		0		2	0	0	0	1	

「三刀屋が完封勝ち！益田東は1球に泣く」

準決勝第2試合は、57年ぶりの中国大会進出を狙う三刀屋と8強以上に安定して入る実力のある益田東の対戦となった。

試合は1点を争う投手戦となった。静かに立ち上がり迎えた3回表、三刀屋は安打と送りバントで1死2塁で注目の1番高野に打席が巡るも、中堅手への飛球に倒れ、後続も続かず先制の好機を逃す。すると直後の3回裏、益田東は安打と保逸で無死2塁と好機を得るが送りバント失敗を皮切りに後続が続かず無得点に終わる。4回表、三刀屋は1死走者なしから4番吉田が外角のスライダーを捉えレフトスタンドへの本塁打で先制点を挙げた。

6回裏、益田東は失策と安打で2死1・2塁と好機を作るが、三刀屋先発三原がチェンジアップを効果的に使い空振り三振で抑える。更に益田東は7回裏にも5番福井聖が2塁打で出塁し、送りバントで1死3塁の絶好の好機を得たが、7・8番が内野ゴロに倒れ同点に追いつくことができなかった。すると8回表、三刀屋は失策と安打で1死1・3塁とし、5番中島に國分監督はスクイズさせるもファールとなり、結局無得点に終わる。

試合はそのまま9回裏に進み、益田東の5番福井聖がこの試合2本目の2塁打を放つと、2死から代打で出た福元が安打で繋ぎ2死1・3塁と長打でサヨナラの好機を作る。代打攻勢で田川を送るが、三原が、この日冴え渡った左打者のインコースへの直球を投げ込み二塁手へのゴロに打ち取り完封で中国大会の進出を決めた。

三刀屋は57年ぶりの中国大会進出だが、今大会で開星、立正大淞南、益田東と私立の強豪を立て続けに破っており、夏に続き上位に進出を決め着実に力をつけてきているだけに中国大会でも楽しみな存在だ。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]